

平成 28 年 12 月 6 日

鹿児島大学病院 消化器外科、乳腺・甲状腺外科 で

悪性腫瘍の治療を受けた患者さんへ

( 臨床研究に関する情報 )

鹿児島大学病院消化器外科、乳腺・甲状腺外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

**【研究課題名】**

ホルモン関連因子と乳癌の臨床病理学的因子との関連についての検討（後ろ向き研究）

**【研究機関】**

鹿児島大学病院 消化器外科、乳腺・甲状腺外科

**【研究責任者】**

鹿児島大学病院 消化器外科 教授 夏越祥次

## 【研究の目的】

早い初経や遅い閉経、妊娠歴の少なさなどは身体への女性ホルモンの暴露を高めることで乳癌の発症リスクを高めるとされています。しかしそうして発症した後の乳癌の性質や予後に関してはまだ不明な点が多いのが現状です。ホルモン関連の生活歴と乳癌の臨症病理学因子を明らかにすることで予後予測や治療の選択をより適確に行いうると考えています。

## 【研究の方法】

鹿児島大学病院消化器外科、乳腺・甲状腺外科を受診され、乳癌と診断された患者さんを対象にしています。過去のカルテから得られる初経年齢、閉経年齢、妊娠、授乳歴など情報と乳癌の臨床病理学的因子との関連を解析します。評価項目として、病理学的因子、治療因子、予後因子の差異の分析を行います。この研究では平成28年10月10日までに得られた情報を用います。

### ●対象になる患者さん

この研究は平成元年1月1日～平成28年3月31日に鹿児島大学病院消化器外科、乳腺・甲状腺外科を受診され、乳癌と診断され、手術や生検により臓器の全部または一部を切除された患者さんを対象にしています。

● 診療録（カルテ）から利用する情報

この研究では、カルテ情報から年齢、病歴、家族歴、採血検査（CEA、CA15-3）、画像検査（CT、MRI、PET、骨シンチグラフィ）結果、病理結果について診療記録を使用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器・乳腺甲状腺外科学分野の使途特定寄附金で実施します。研究費の一部には企業からの寄付金が含まれますが、広く学術を振興するためのものであり、この研究を特定したものではありません。この研究に対する企業等からの寄付および労務提供はありませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご

連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 乳腺・甲状腺外科

医員 新田吉陽

電話 099-275-5361      FAX 099-265-7426